
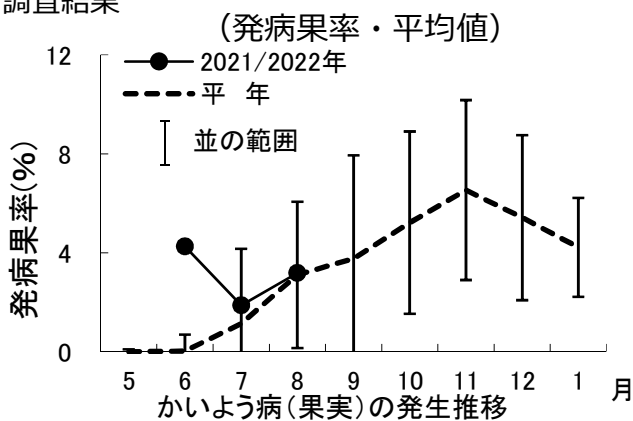
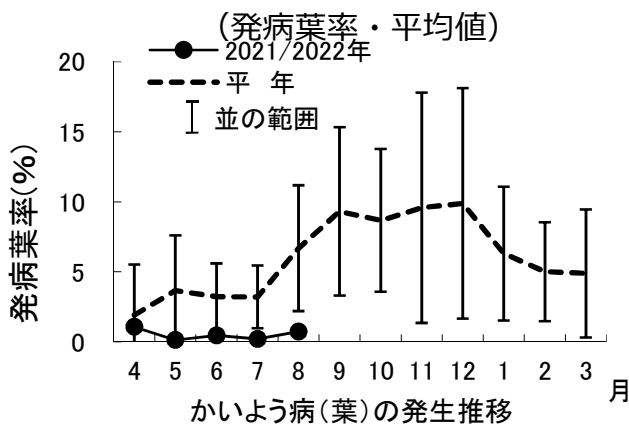
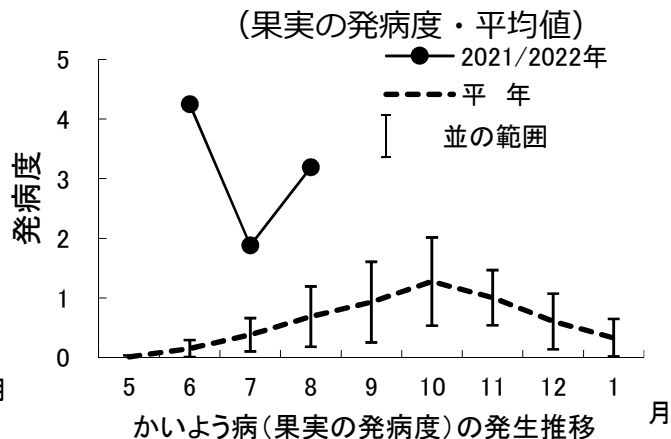


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報	8 月からの増減傾向	↗	
		9 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗) 今後 1 か月の降水量が平年並か少ない見込み	

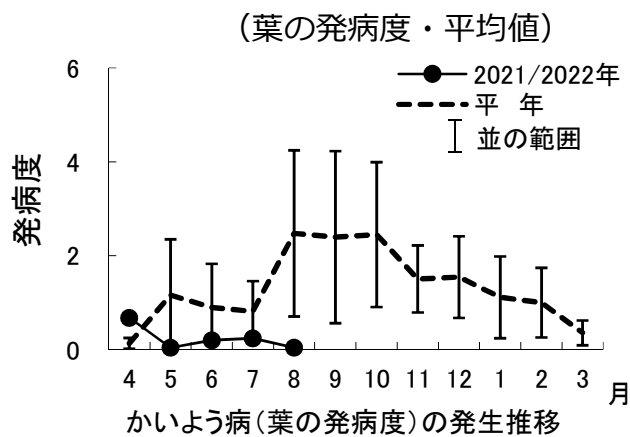
調査結果



・ 発生ほ場率：80.0% (平年67.5%)



・ 発生ほ場率：60.0% (平年83.7%)




防除のポイント

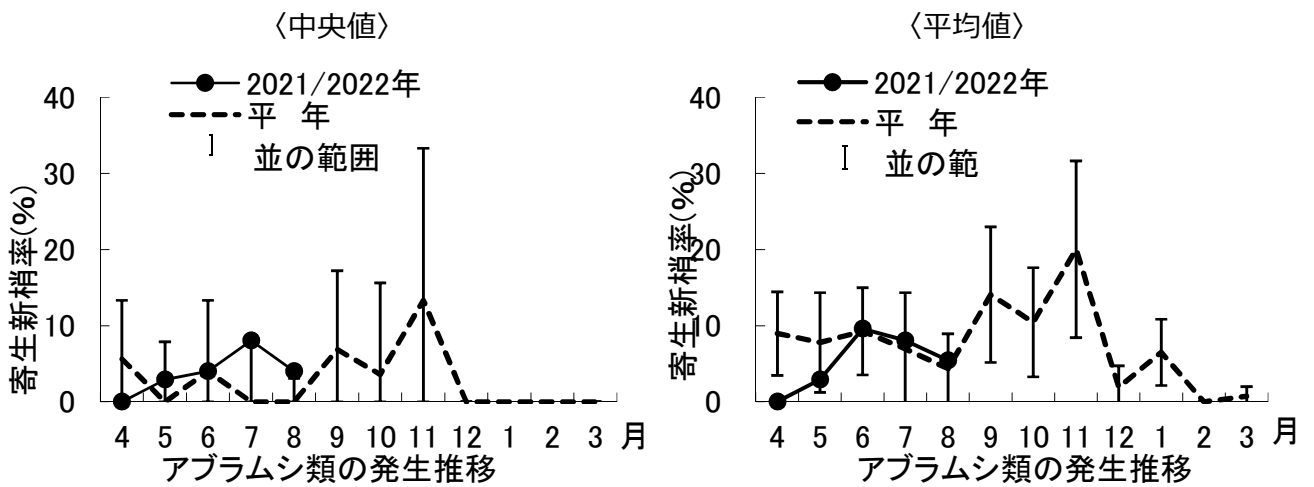
- ・ 罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口（風傷）は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。

被害葉→



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	② アブラムシ類		
調査結果	8 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	8 月からの増減傾向	↗	
	9 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果




- ・ 発生ほ場率：80.0%（平年：37.5%）

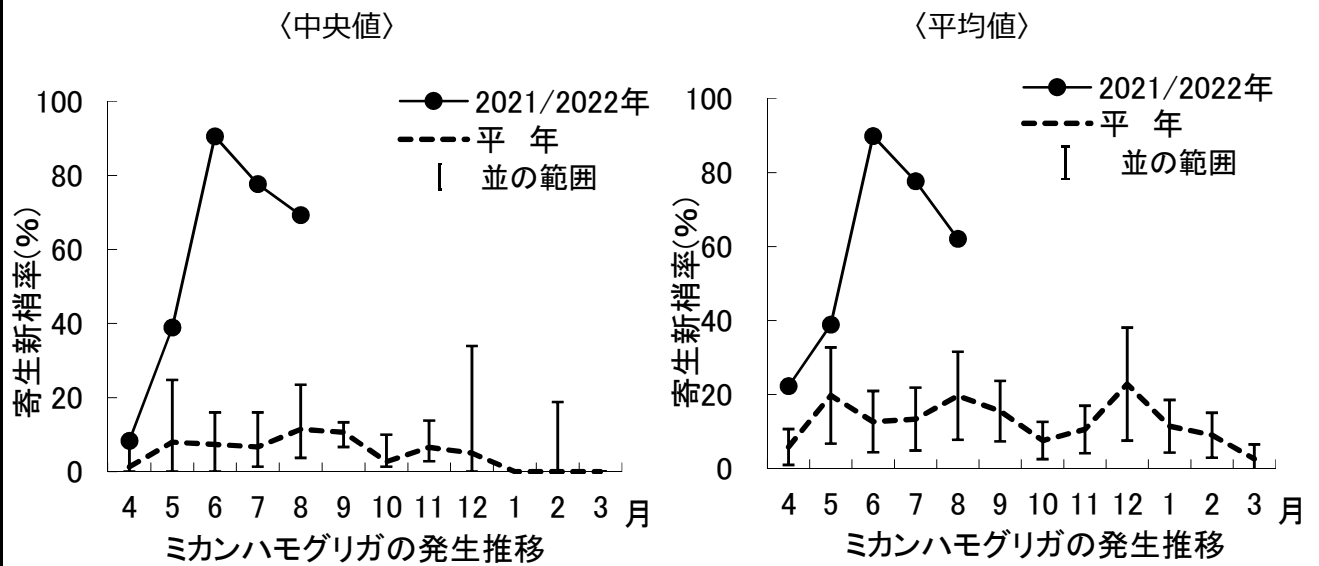
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ミカンハモグリガ		
調査結果	8 月の発生量（平年比）	多	
予報	8 月からの増減傾向	↓	
	9 月の発生量（平年比）	多	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↓）	


調査結果



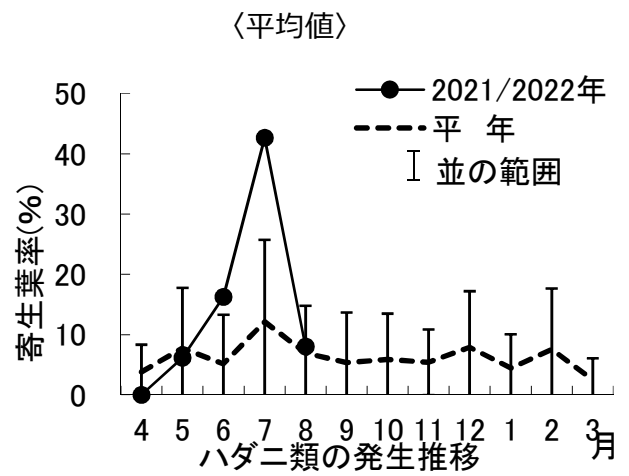
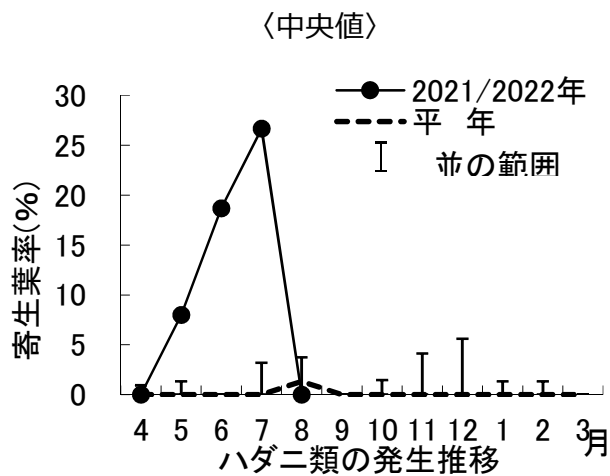
・ 発生ほ場率：100%（平年：81.1%）

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすく、伝染源になるので除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ハダニ類		
調査結果	8 月の発生量（平年比）	並	
予報	8 月からの増減傾向	↘	
	9 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘） 今後 1 か月の降水量が平年並か少ない見込み	

調査結果



- ・ 発生ほ場率：20.0%（平年：53.5%）
- ・ 一ほ場で発生が多かった

防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状